



《風をまとう》2014年



浅野有紀 | ASANO Yuki

画家。1976年岡山県生まれ、在住。倉敷芸術科学大学大学院修了。大気の波動をにじみや積み重ねた色彩を浸透させて描きたいと考え、日本画の技法で絹本に箔などを用いて制作している。岡山県や関西で個展を中心に活動。



榎尾聡美 | KASHIO Satomi

2010年多摩美術大学院テキスタイルデザイン領域修了。2012年岡山県立大学デザイン学部助教。細胞の1つ1つを模様として捉え生命の内側を覗いてみると、そこには驚く程美しい装飾が潜んでいる。ゆえに装飾は生命の内側を感じさせる。現代社会に欠かすことができない人工物をモチーフに現代の生命力を描き出したいと考えています。



《signal》2013年

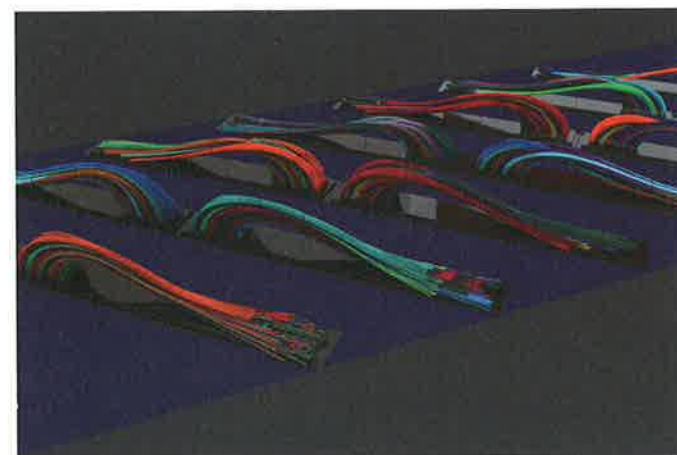


岡部玄 | OKABE Gen

1987年アトリエ掃除の時、雀の巣と出会い感銘を受ける。以来、雀を師と仰ぎ活動を続ける。1997年「アートラビリンズⅡ 一時の記憶」(岡山県立美術館)、2004年「木で作る美術」(群馬県立館林美術館)、2010年「現代アートの饗宴」(奈良現代美術館)、2014年「《風の姿・地の響》計画」(勝央美術文学館、旧勝央町郷土美術館、その他)。人間も本来、自然(野生)そのものはず。自然の持つ偉大な力(破壊もするが、創造する力)を身の内に受け入れ、育んでいきたいと思っています。



《複合体》2014年



《Flow》2014年



草間喆雄 | KUSAMA Tetsuo

1973年米国クランブルックアカデミーオブアート大学院修了、1975年州立ユタ大学芸術学部助教授、2011年岡山県立大学名誉教授、展示2011年「Fiber Futures: Japan's Textile Pioneers展」(New York) 2013年「Cheongju International Craft Biennale」(清州・韓国)。ここ数年の作品テーマは「OPTICAL ILLUSION」です。従来から使い続けている織機による織技法ではなく、アルミ、ステンレスの丸棒に直接糸を巻き付けるコイルリング技法を用い、制作しています。